

スタディ・ドッグ・スクール® ペットドッグトレーナー育成コース 授業内容一覧表

座学 (10:00~13:00)

授業日程	回	座学科目(3h/回)	クラス名				
			ペットドッグトレーナー	パピートレーナー	子犬の幼稚園	スキルアップ	ナレッジ
4/2	1	ペットドッグトレーナーの重要性 Mission Statement	○	○	○		○
4/9	2	犬の行動特性	○	○	○		○
4/16	3	犬種による行動特性の違い・犬の感覚世界	○	○	○		○
4/23	4	犬の生理学・犬の行動発達	○	○	○		○
5/7	5	犬の行動発達・犬のコミュニケーション方法	○	○	○		○
5/14	6	動物の学習原理とトレーニングへの応用①	○	○	○		○
5/21	7	動物の学習原理とトレーニングへの応用②	○	○	○		○
5/28	8	犬の衛生管理	○	○	○		○
6/4	9	飼育環境の設定方法	○	○	○		○
6/11	10	犬の問題行動 概論	○	○	○		○
6/18	11	指導スキル・トレーニングアイテム	○	○	○		○
6/25	12	動物法規・犬の問題行動の修正方法	○	○	○		○
7/2	13	犬の問題行動の対処の概論	○	○	○		○
7/9	14	犬の問題行動の対処の各論①	○	○	○		○
7/16	15	犬の問題行動の対処の概論②	○	○	○		○
7/23	16	飼い主指導のスキルアップ※ ヒトと犬の絆	○		○		○
7/30	17	効果的なホームページ作成※ マーケティング戦略	○		○		○
8/6	18	経営法務・創業※ 獣医師がドッグトレーナーに求めること※ (14~15時予定)	○				○
8/20	19	グルーブレスンロールプレイ①	○	○			
8/27	20	グルーブレスンロールプレイ②	○	○			
9/3	21	カウンセリングロールプレイ	○				
9/10	22	筆記・実技試験	○				
9/17	23	修了式	○	○	○	○	○

※外部講師による授業

実技 (14:00~17:00)

授業日程	回	座学科目(3h/回)	クラス名				
			ペットドッグトレーナー	パピートレーナー	子犬の幼稚園	スキルアップ	ナレッジ
4/2	1	犬同士のコミュニケーションで見るべきポイント	○	○	○	○	
4/9	2	人に意識を向けるためのトレーニング	○	○	○	○	
4/16	3	苦手なものを克服するための拮抗条件づけ	○	○	○	○	
4/23	4	健康管理方法	○	○	○	○	
5/7	5	歩行トレーニングの基本	○	○	○	○	
5/14	6	ハウスに長時間入っているトレーニング	○	○	○	○	
5/21	7	運動のさせ方(遊び方)と噛みつきの抑制	○	○	○	○	
5/28	8	歩行トレーニングの発展	○			○	
6/4	9	足元で大人しくするコマンドトレーニング	○			○	
6/11	10	ゲームを取り入れたトレーニング	○			○	
6/18	11	言葉を聞き分ける弁別トレーニング	○			○	
6/25	12	犬の健康管理に必要なトレーニング	○			○	
7/2	13	強い刺激を使ったトレーニング	○			○	
7/9	14	誘惑物に出会った時の対処	○			○	
7/16	15	様々な環境下でのトレーニング	○			○	
7/23	16	ノーリードでのコントロール	○			○	
7/30	17	他人の指示に従うトレーニング	○			○	
8/6	18	クリックートレーニングの原理について	○			○	
8/20	19	クリッカーを使ったシェーピング	○			○	
8/27	20	クリッカーを使ったジェンドリングトレーニング	○			○	
9/3	21						
9/10	22	筆記・実技試験	○				
9/17	23	修了式	○	○	○	○	○
<p>選択実習 ※()内の規定時間数以上を受講してください。</p>			<p>①グルーブレスン実習 (40h以上)</p> <p>②動物病院パピークラス実習 (4h以上)</p> <p>③問題行動カウンセリング実習 (12h以上)</p> <p>④幼稚園実習 10日間以上 (平日9時~19時)</p>	<p>①パピークラス実習 (14h以上)</p> <p>②動物病院パピークラス実習 (8h以上)</p>	<p>幼稚園実習 10日間以上 (平日9時~19時)</p>		

授業内容が変更になる場合があります。